

早稲田大学 グローバルCOE 「アジア地域統合のための世界的人材育成拠点」
調査研究支援スキーム 成果報告

所属 アジア研究所 客員研究員 氏名 高橋 勝幸

日程 2008年 2月 18日 ～2008年 3月 17日

渡航地 (国・都市名)

タイ・バンコク、シーサケート、パッタラン
シンガポール
中国・広州、アモイ、汕頭

リサーチ目的

研究テーマは「冷戦初期タイ国の平和運動：タイ共産党の統一戦線活動の展開」（博士論文）である。第二次大戦後、冷戦が先鋭化し、核の脅威が広がる中で、平和運動が世界各地で始まった。アメリカの核政策と反共政策を牽制するために、共産主義者は平和運動の中心的役割を果たした。タイでも同様に、タイ共産党が舞台裏で平和を目的とした統一戦線を組織し、平和運動を発展させた。

研究の目的は、次の3項目を明らかにすることである。

- ①タイの平和運動がなぜ始まったのか。
- ②タイの平和運動はどのように発展したのか。
- ③タイの平和運動の特徴は何か。

研究課題

今回の出張課題は、博士論文作成のための資料補充である。

インタビュー調査（元救国運動メンバー、シーサケート県の元活動家、元学生運動リーダー）を通して、次の点を確認する。

- ・タイ共産党が統一戦線に組み込むことに失敗した「救国運動」の活動目的
- ・シーサケート県における共産党の地下工作
- ・1948年から52年にかけての学生運動の70年代の運動に対する影響

次の項目に関する公文書、資料、文献を収集する。

・タマサート大学元理事長の個人文書（学生の平和運動に関する資料が含まれていることが最近の研究論文から明らかになった）

・ゴム価格の問題（平和委員会代表者会議の議題の一つとして、ゴム価の暴落がアメリカの購買独占・価格協定と中ソへの輸出禁止と関連して議論された。官報や公文書からタイ・アメリカの協定、統計資料からゴム価、輸出量を調査する）

・土地税の問題（平和の要求とともに、農民から土地税廃止を求める陳情がなされた。土地税の増税があったのか、官報で確認）

- ・華字紙『全民報』編集長逮捕の直接の理由（警察が違法とした記事の写し）
- ・国民党、共産党両派の華僑の政治活動（共産党派は平和運動に一定の役割を果たした）

成 果

タイ、シンガポール、中国で資料収集した。

1. インタビュー

スポット・ダーントゥラクーン（ノンタブリー県、2008年2月21日、元救国運動メンバー）

ソーイ・チャンター（シーサケート県、2008年2月23日、ラオス解放運動支援参加）

ラーウィー・チャイチャー（シーサケート県、2008年2月23日、元タイ共産党員）

劉利洲（バンコク、2008年3月14日、中華中学、アサムプシヨソ商科大学1944年卒）

プラチュアツプ・アムパサウエート（バンコク、2008年3月16日、1950・51年度タマサート大学自治会委員長）

2. 文書資料の収集

タイ国立公文書館：共産主義運動、平和運動、ベトナムのタイでの活動、朝鮮戦争、ゴムの購買に関するアメリカとの協定文書

タマサート大学公文書館：ウィチット・ルリターノン（タマサート大学理事長）の個人文書（弟の同大学印刷部責任者の王宮反乱についての供述、サワット中將の学長代理招請経過、同大学学生の平和運動関係資料）

パッターン県：シン・トームリムの葬礼本（タイ南部のタイ共産党の指導者。2007年死去。タイには故人を偲ぶために、その業績等を印刷して、葬儀で配布する習慣がある）

シンガポール大学図書館：中国共産党派華僑がバンコクで刊行した『民主新聞』1952年分、『全民報』1950年11月28日分。前者にはタイの学生運動の歴史に関する論説があった。後者は、編集長が逮捕され、国外退去となる根拠となった反米の記事が掲載されている。いずれもコーネル大学所蔵のマイクロフィルムのコピー。タイの国立図書館は所蔵していない。

東南アジア研究所（Institute of Southeast Asian Studies, ISEAS）：

ベトナム人共産主義者のタイでの活動に関する研究論文、回想録

暨南大学図書館（華僑教育に貢献した大学）：バンコクの啓明学校の文集、タイ関連、中国の平和運動、ロシア語通訳の師哲に関する書籍

アモイ大学 南洋研究センター：中国共産党側が作成した、タイにおける国民党の活動に関する資料

アモイ図書館 華僑華人コーナー：華僑に対する国民党側の反共政策に関する文献

汕頭図書館 汕潮センター（汕頭、潮州出身の華僑が多いことから、華僑資料収集）：

黄声に関する文献（1932年、バンコクの崇実学校で教鞭。1934年帰国。戦中、シンガポール、マラヤ、タイ、ラオス、ベトナムで活動。終戦後、来タイ。中国民主同盟暹羅支部主任委員。『曼谷商報』編集長。1948年帰国）

事業推進担当者確認（署名・押印）

メイン	梅森直之
サブ	勝間 靖



* A 42枚以内。各項目のスペースはご自由に変更下さい。